

公共事業等施行状況調（令和4年9月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (9月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	23,764	24,949	16,811	15,541	12,589	74.9	11,520	74.1	
2	農林・水産	32,757	30,983	24,654	22,974	20,780	84.3	19,858	86.4	
3	道 路	53,793	51,830	33,860	30,712	27,681	81.8	28,655	93.3	
4	港湾・空港	7,082	6,973	2,983	3,319	2,643	88.6	2,505	75.5	
5	下水道・公園	9,868	9,525	2,732	2,468	651	23.8	1,048	42.5	
6	住 宅	1,489	1,805	1,045	1,309	886	84.8	1,190	90.9	
7	庁 舎	2,467	3,623	2,315	3,356	1,589	68.6	1,677	50.0	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	5,802	20,029	4,519	16,331	1,724	38.2	6,103	37.4	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	84	102	78	92.9	90	88.2	
12	災害復旧	602	211	457	203	105	23.0	161	79.3	
13	その他	7,521	8,966	4,255	6,507	2,524	59.3	4,044	62.1	
	計	146,093	159,928	93,714	102,823	71,251	76.0	76,851	74.7	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年9月末）

（単位：社、件、百万円、％）

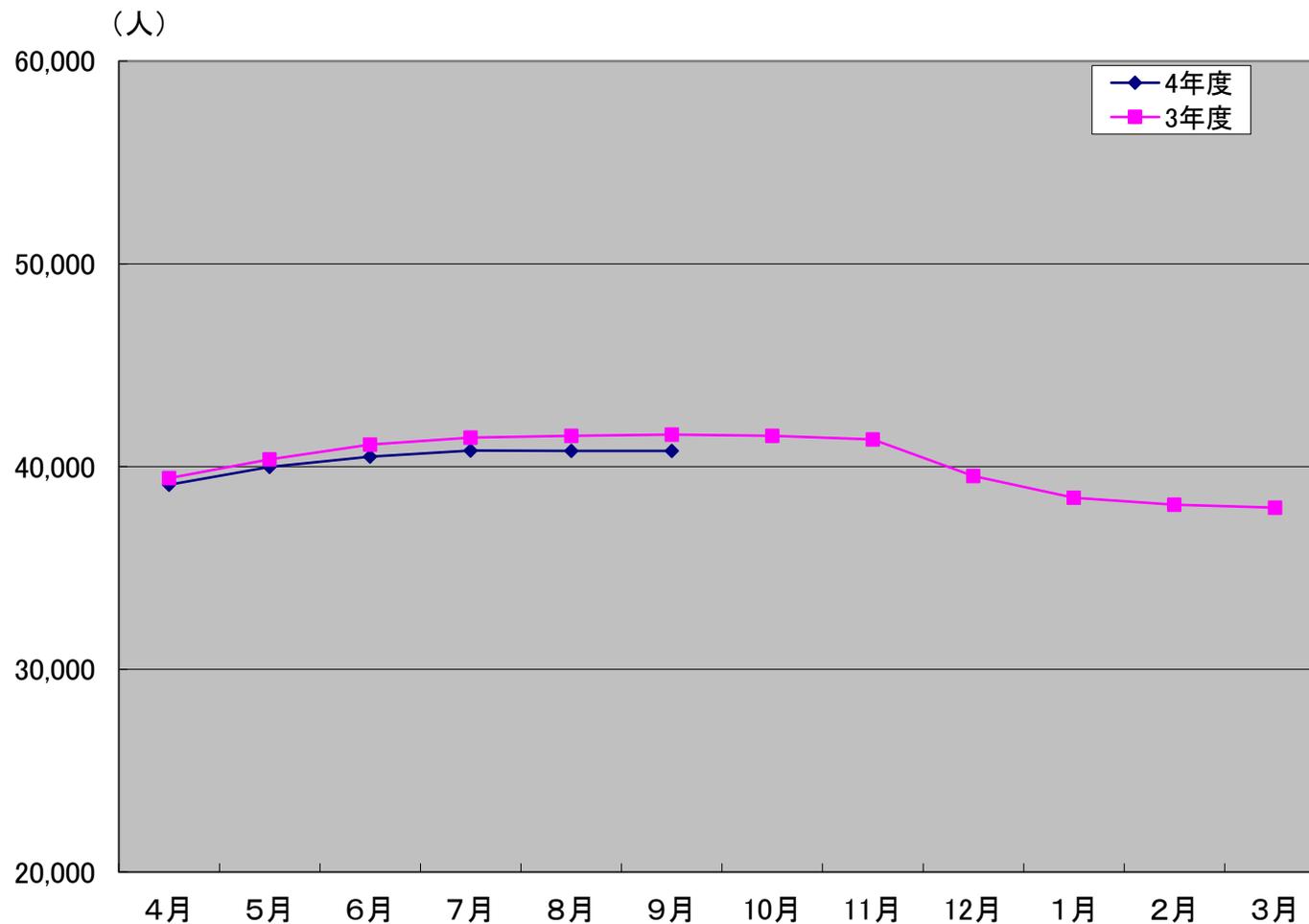
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
4年度	146,093	93,714	19,817	1,842	71,251	19,416	1,766	64,556	359	62	3,571	42	14	3,125
					76.0	98.0	95.9	90.6	1.8	3.4	5.0	0.2	0.8	4.4
前年度比	91.3	91.1	88.5	84.8	92.7	88.6	84.9	95.0	91.8	83.8	83.3	61.8	77.8	67.6
3年度	159,928	102,823	22,383	2,172	76,851	21,924	2,080	67,943	391	74	4,285	68	18	4,623
					74.7	97.9	95.8	88.4	1.7	3.4	5.6	0.3	0.8	6.0

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月	40,778	41,521
9月	40,773	41,577
10月		41,516
11月		41,333
12月		39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	40,778
資格取得者数	458
資格喪失者数	457
転入者数	4
転出者数	10
今月末被保険者数	40,773

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)9月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年10月)

	需給動向												価格動向												備 考	
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前			八戸			県平均				
	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落																				
セメント		○																								普通ポルトランド(バラ)でトン当たり15,400円と前月比1,000円の上伸。8月の青森県内の販売量は2万5千トン(協会調べ)で前年同月比44%減。メーカー各社が昨年打ち出した2,000円以上の値上げは、主たる需要家の生コンメーカーの抵抗を受けながらも、粘り強く交渉を続け、積み残し分の1,000円が浸透。メーカー各社は10月から新たな値上げを表明し、強腰で交渉を続ける構え。一方、需要家はさらなる製造コスト増による採算悪化を懸念し、反発する見通し。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品		○																								道路工事に伴い、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。メーカー各社は10月からのセメントの追加値上げ表明を受け、製造コスト増による採算悪化に危機感を募らせている。ヒューム管は、原材料及び運搬コストの増加に伴う値上げが浸透し、上伸。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○																								県内の9月の出荷量は5万5千m3(生コン工組調べ)で前年同月比3%の減。県内全域で荷動きが精彩を欠くなか、メーカー各社はセメントの追加値上げ表明を受け、製造コスト増による採算悪化に危機感を募らせている。追加値上げを打ち出したメーカーもあるものの、需要家は短期間でさらなる値上げに対して、慎重な姿勢を崩していない。目先、横ばいの公算大。
砕 石		○																								生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。一部メーカーは、原油高による輸送コストの増加や電気料金の上昇を理由に追加値上げを表明している。需要家は短期間でさらなる値上げに対して、慎重な姿勢であるものの、社会情勢の変化に理解を示し受け入れる動きも見られる。両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、目先、強含みの見通し。
小 棒		○																								SD295・D16でトン当たり115,000円と前月比変わらず。7月末から値を戻してきた鉄スクラップ価格は、足元で弱基調に転じたが、電力料金や副資材価格などはコスト増。未だ採算改善を達成していないメーカー各社は、現行価格維持の姿勢を崩していない。一方、需要家は、製品価格が原料価格に比べて割高とみており、当用買いに徹している。今後も鉄スクラップ価格は弱基調で推移し、先安観が強まること予測される。目先、弱基調の公算大。
アスファルト		○																								9月の県内出荷量は8万トン(含材協会調べ)で前年同期比25.5%の増。原材料であるスチラス価格が高止まりするなか、メーカー各社は、製造コスト高を転嫁すべく、需要家と値上げ交渉を続けている。秋需を迎え物件に底堅さが見え始めたことで、メーカー各社は採算確保に向け強腰で交渉する構えだが、需要家は度重なる値上げに慎重姿勢を崩していない。目先、横ばいの公算大。
木 材		○																								管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり110,000円と前月比5,000円の下落。3カ月続落となった。8月の県内新設住宅着工戸数は462戸で前年同月比8.5%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比11.0%の減少、それに次ぐ貸家が同72.3%の増加などとなっている。建設資材高騰や住設機器の納期遅延が顕在化するなかで、住宅の購入意欲が低下している。さらに輸入材の供給回復によって国産材の荷動きが停滞し、在庫整理による安値販売が増加した。先行き、弱基調の見込み。
油 類		○																								軽油はミニローリー渡りでリットル当たり121円、重油はローリー渡りでリットル当たり82円とともに横ばい。各国中央銀行の利上げが世界景気を冷やし原油需要が減少するとの見方から、原油相場は一時大幅下落。これを受け、元売りの仕切価格は下落したものの、燃料油価格激変緩和対策の効果もあり小幅な値動きにとどまり、流通各社は価格を維持。主要産油国が大規模な協調減産に合意し、今後は需給の引き締まりが予測される一方、国内市況は引き続き大幅な価格変動は避けられるとみられる。目先、横ばいの見込み。
型枠合板		○																								12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,250円と前月比変わらず。市中入荷量は低水準のままだが、需要も低調でひっ迫感は見られない。流通筋は、現地価格の高止まりと円安による仕入れ高を販売価格へ上乗せする姿勢を継続。大口需要家は、夏場までの価格上昇時期に手持ち在庫を確保しており、値上げは浸透していない。現地の雨季入りにより入荷量は減少する見込みだが、需要の早期回復は見通せない状況。先行き、横ばいの見通し。
形 鋼		○																								200×100でトン当たり129,000円と前月比変わらず。市中荷動きに直結する中小建築需要が低迷し、盛り上がり欠く商況が続いている。流通各社は、メーカー値上げ未転嫁分の浸透に向けて交渉を継続。しかし、需要家の抵抗もあり、価格転嫁には至らず、7カ月続いた上伸相場も一服状態。メーカー各社は、今後も価格優先の販売姿勢を維持する構え。流通各社も値上げ交渉を継続する意向にあるが、需要の回復には時間を要するとの見方が強い。目先、横ばいの公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年10月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	15,400	6.9	15,400	6.9	15,400	6.9	15,400	6.9	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	7.1	40,600	7.1	40,600	7.1	40,600	7.1	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	13,600	0.0	16,000	0.0	14,200	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	3,900	0.0	4,700	0.0	4,200	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	3,300	0.0	3,133	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	115,000	0.0	115,000	0.0	115,000	0.0	115,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	125,000	-2.3	125,000	-2.3	125,000	-2.3	125,000	-2.3	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	110,000	-4.3	110,000	-4.3	110,000	-4.3	110,000	-4.3	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	2,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	129,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

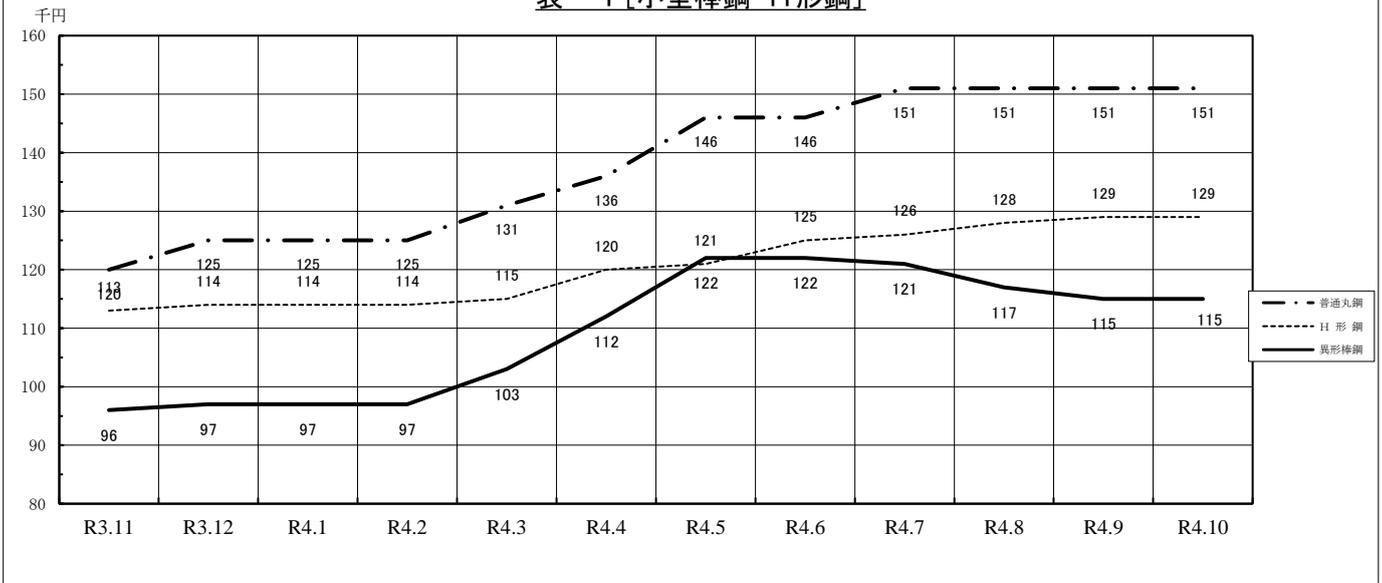


表-2 [セメント・生コン]

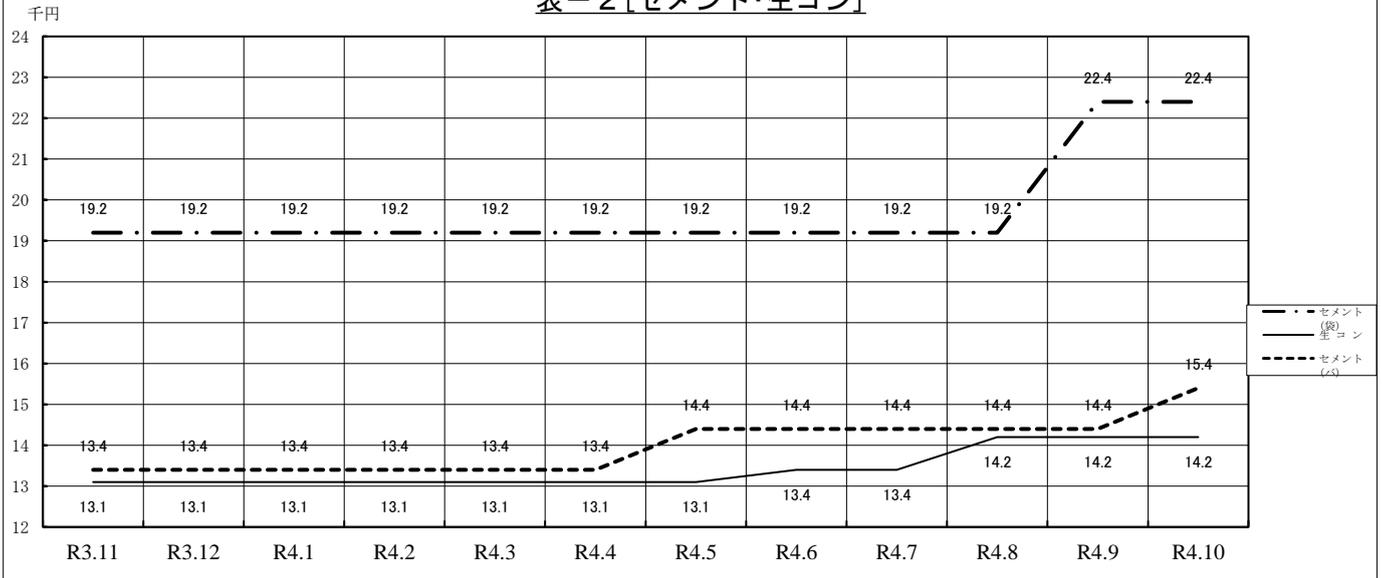
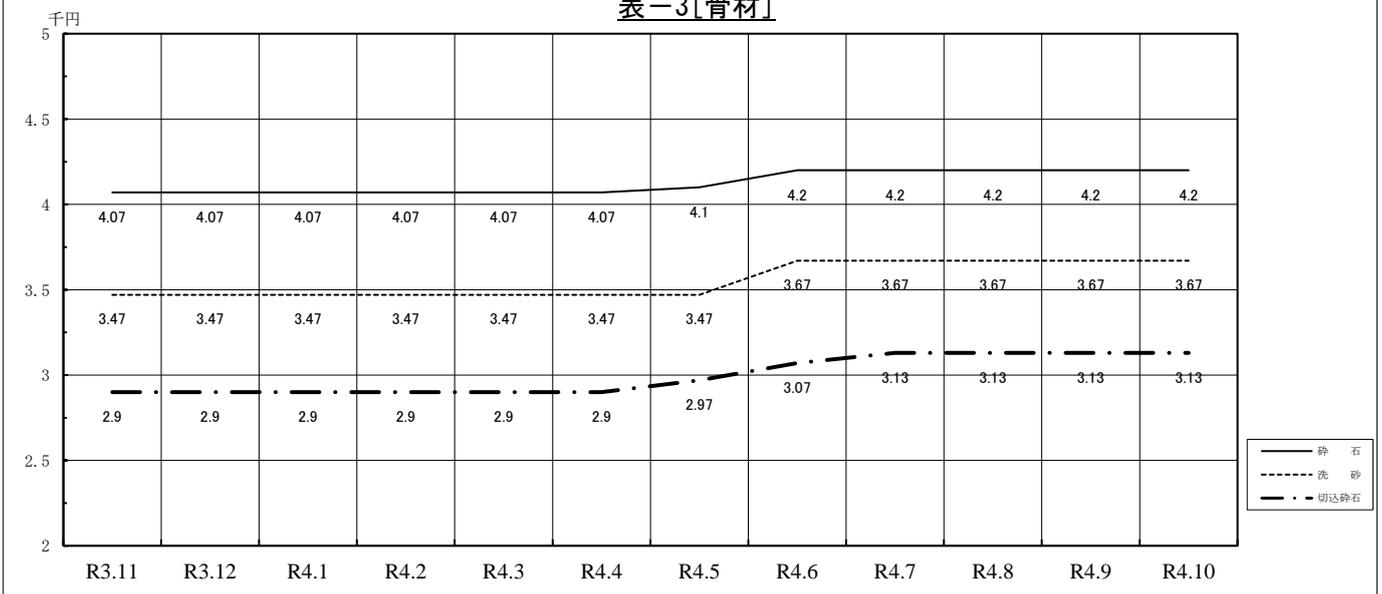


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

